

2025年度 日本雪氷学会北海道支部 地域講演会

カーリングホールのアイス メイク技術と競技への影響

日時：2026年 2月15日(日) 10:00～12:00

会場：アルゴグラフィクス北見カーリングホール
北海道北見市柏陽町603-14 (駐車場有)



入場無料

定員 20名

要参加申し込み 2月8日(日) 8時
から2月12日(木)まで

お申し込みはこち
らのフォームから



申し込み結果は 2月13日(金) , 電子メールにてお知らせします。

問合せ先：北見工業大学工学部 情報通信系 原田康浩, TEL. 0157-26-9348

主催：日本雪氷学会北海道支部, 共催：北見工業大学冬季スポーツ科学研究推進センター

後援：北見市教育委員会, 協力：一般社団法人カーリング北見

講師 奈良 浩毅

(一社) カーリング北見
アルゴグラフィクス北見カーリングホール アイスメーカー

カーリングホールの氷（アイスシート）の表面は平らではなく、ペブルと呼ばれる氷の粒があり凸凹しています。このペブルの存在とその状態がストーンの滑りや曲がりに影響をするため、ゲームの行方を占う重要な役割を果たしているともいわれています。

この講演会では、ペブルの作製を含めて、カーリングホールの氷をカーリングができる状態にするために行う一連の「アイスマイク」の内容を、現役のアイスマーカーから実演を交えて講演していただきます。一連のアイスマイク作業の意味とそれがカーリング競技に及ぼす影響についても解説していただきます。普段見られないホールのバックヤードや道具も見学いただけます。

